

人生を変える一冊と出会う

大学生のころを振り返ると、気になった小説を読む程度で、積極的に本を読む方ではなかったように思います。それでも大学院へ進学すると、自分の意志とは関係なく、研究の一環として多くの本を読まなければなりません。

当時の私は（今でもそうですが）、「他人の心を理解することはできるのか」という問いに強い関心を持っていたので、少し背伸びをしていたような気もしますが、そうしたテーマに関する学術書を探していました。そのうちに、「他我論」や「独我論」、あるいは「認識論」といった考え方を理解する必要があるのではないかと思い至り、主にカントに関する本を読んでいました。

カントは「理性」について深く考察した哲学者であり、「近代哲学の父」とも称される人物です。その彼を語るうえで、よく知られたエピソードがあります。

カントは、自らが哲学者であることに強い誇りを持ち、その一方で民衆を無知な存在として見下していたといわれています。しかし、ルソーの著した『エミール』を読んだことで、自らの傲慢さを反省し、人間に対する愛に目覚めたと語っています。

このエピソードを知ったとき、私は「ほんまかいな？」と思いました。「一冊の本との出会いが人生を変えることがある」という話は教訓としては面白いけれど、実際にはそんなことはないだろう、けれど自分も一度くらい経験してみたい——その程度の感想でした。

それからしばらくして、私は『心と他者』（野矢茂樹著）という本に出会いました。タイトルを見て、自分の関心事である「心の在処」についてのヒントがありそうだと思い、何気なく手に取ったのです。

しかし、読み進めていくと、「心というものは、他者との関係の中で初めて意味を持つ」といった趣旨の一文がありました。

この一文を読んだとき、二つの衝撃を受けました。一つは、自分が長く知りたいと思っていた問いへの答えに出会えたこと。もう一つは、自分の前途が開けたように感じたことです。大げさに言えば、人生が変わったのです。

カントが『エミール』との出会いによって受けた衝撃を、私もまた一冊の本との出会いによって経験しました。そして、「本が人生を変えることがある」ということを、身をもって知ったのです。

図書館だよりの巻頭言を依頼されたとき、皆さんに本と親しむことの素晴らしさを伝えたいと思い、あれこれ考えた末に、この経験を書くことにしました。

この巻頭言を読んで、「一冊の本が人生を変える」という言葉に半信半疑の方がいるかもしれません。だからこそ、まずは何でもよいので、一冊の本を手にとってみてください。

図書館にはたくさんの本があります。どうぞ足を運んでみてください。何気なく手に取ったその一冊が、皆さんの人生を変えるきっかけになるかもしれません。

野矢茂樹（1998）『心と他者』勁草書房,p81



社会福祉学部
社会福祉学科
学部長 教授
岡崎 幸友





子どもに教える前に知っておきたい データサイエンス

—小学生が高校の「情報」を超える論理的・
批判的思考力と探究力を付けるプログラム—

学長
加藤 明

著 者：加藤 明
出 版 社：きんもくせい書房
発 行 年 月：2026年7月
Amazon kindle版 提供あり

小中学校で実践されているプログラミング教育では、「自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組み合わせが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号をどのように組み合わせたらいいのか、記号の組み合わせをどのように改善していけばより意図した活動に近づくのか、といったことを論理的に考えていく力」が目標としてめざされています。プログラミング言語の習得だけではない、論理的思考力の育成が求められているのです。

本書では、結論から遡って考える仮説的推論を効果的に使いながら問題解決の手法が身につくよう工夫されています。

最終章 探究学習や暮らしへのデータサイエンスの活かし方 では、「未成年の飲酒や喫煙を正直に答えさせるには」を考えるために「大数の法則」を使って推定する方法が紹介されています。そのほかにも「シカゴに必要なピアノ調律師は何人か（フェルミ推定）」、「隣に座った高校生が受験生である可能性は？（ベイズ推測統計）」といった例題は身近で、誰もが関心を持てることでしょう。

そして、エビデンスに基づいた実証的、論理的、批判的に解析するデータサイエンスによる探究学習を日常生活の中でどう活かしていくのか、自分にとって必要なものは何かを判断する力をつけるように、と結ばれています。



認定資格「人間関係士」ガイドブック

編 著：日本人間関係学会人間関係士資格委員会 編
早坂三郎・杉本太平 監修
出 版 社：学術研究出版
発 行 年 月：2026年3月

社会福祉学部 社会福祉学科
教授

谷 川 和 昭

人間関係の悩みは、学生の皆さんや教職員の方々にとっても避けては通れない身近な課題ではないでしょうか。SNSなどの普及により繋がりが広がりやすくなった一方で、対面での対話や深い関係構築がゆらぎ、孤立やストレスを感じる場面も増えています。

そんな今、お薦めしたいのが「人間関係士」という資格のガイドブックです。本資格は日本人間関係学会が認定するもので、人と人、あるいは集団のより良い関係を創造・調整・回復するための専門的な知識と技術を身に付けていることを証明します。

「人間関係力は才能ではなく、適切な学びと実践によって習得できる技術である」というのが本書

の核心です。ガイドブックでは、心理学や社会学の理論から、コーチング、アンガーマネジメント、SST（社会的スキル訓練）といった具体的な対人技法まで幅広く体系化されています。

特に学生の皆さんにとっては、日々のキャンパスライフにおける人間関係に活かせるだけでなく、在学中にこれらの技法を身に付けておくことが、就職活動はもとより、将来、教育・福祉・医療・企業など、どの分野に進むにしても大きな強みとなるはずです。

自分を理解し、他者と豊かに繋がる力を磨くための一助として、ぜひ図書館で本書を手にとってみてください。



宗教の「公共性」を問い直す ——ケアと共感から生まれるもの

著者：宮本要太郎
出版社：関西大学出版部
発行年月：2026年1月

副学長
宮本 要太郎

本書は、現代日本における「宗教の公共性」とは何かを、制度や理念ではなく、苦しむ人のそばに立つ実践から問い直した一冊です。「無縁社会」論や支縁のまちネットワークでの活動を契機に、私がこの十数年取り組んできた三つの科研プロジェクトの成果を基盤としています。そこで一貫して追いつけてきたのは、「宗教はいかにして人と人とのあいだに橋を架けるのか」という問いでした。

本書では、現場の語りからケアの倫理、そして

公共性の理論へと考察を重ねながら、宗教の公共性が人びとのあいだに生まれる共感や信頼の中に宿ることを示しています。さらに、「宗教」を教団ベースでとらえるのではなく、日本社会に固有の「世間」という関係の網の目にも目を向け、そこに育まれる気遣いや支え合いの可能性を捉え直しました。

本書が、福祉の現場で他者に寄り添う実践を考える一助となり、誰かのそばに立つ小さなきっかけとなれば幸いです。



保護司が拓く利他のコミュニティ ——ケアの実践を継承するために

編著：今福章二
出版社：ミネルヴァ書房
発行年月：2026年5月

社会福祉学部 社会福祉学科
講師

石田 咲子

保護司とは、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える民間のボランティアです。本書は私が研究協力者として所属する「保護司みらい研究所」での議論をもとに、保護司の実践が紡ぐ地域文化とその行方を実証的・分析的に提示しています。利他と寄り添いの概念を軸に保護司の文化を読み解いた、『文化としての保護司制度—立ち直りに寄り添う「利他」のこころ』（2024年）の続編という位置づけです。各地の保護司による実践報告をはじめ、当事者（少年院出院者）や被害者の視点からの寄稿も掲載されており、バラエティ

に富んだ内容です。

私が執筆したのは、第11章「海外の更生保護ボランティアから学ぶ」のうち「オランダの更生保護ボランティアの展望と実践」です。オランダで犯罪者の社会復帰を支援するアフターケア施設へ実態調査に行った際に得られた知見なども紹介しています。

本書が、更生保護だけでなく、利他やケアの視点からわが国の地域ボランティアについても考えるきっかけとなれば幸いです。



船上の助産師

DATA 著 者：小島穂奈
出 版 社：ほんの木 発行年月：2024年9月

看護学部 看護学科
教授

四宮 美佐恵

地中海の難民救助船で活動する日本人助産師の記録で、命の誕生がいかに過酷な状況下でも希望となり得ることを教えてくれます。

戦争や迫害から逃れてきた女性たちの出産に立ち会う中で、助産師としての技術だけでなく、人間としての尊厳と共感が試される場面が多く描かれています。医療資源が限られた船上で、命を守るために奮闘する姿は、助産師の役割の本質を浮き彫りにしています。そして、助産師という職業が持つ力と、命の尊さを強く感じさせてくれる本です。



影の現象学

DATA 著 者：河合隼雄
出 版 社：講談社 発行年月：1987年12月

看護学部 看護学科
准教授

猪谷 生 美

対人援助の現場で私たちが出会うのは、教科書通りの世界ではありません。ときに他者や自分の内側に潜む「影（シャドウ）」と向き合うことがあります。光があれば影が生まれるように、人の影も排除すべきものではなく、光と相補い合う存在です。本書は、「いま、目の前の人に世界がどう現れているのか」を先入観なく受け止める現象学のまなざしを示します。表面的なマニュアルを超え、人間の心の深みと向き合うために、私たちは正しさを押し付けるのではなく、苦しみや葛藤のグラデーションに耳を澄ませる必要があります。寄り添いの本質を学べる名著です。



犯罪

DATA 著 者：フェルディナント・フォン・シーラッハ 酒寄進一（訳）
出 版 社：東京創元社 発行年月：2015年4月

社会福祉学部 社会福祉学科
講師

石田 咲子

本書は、ドイツの刑事事件の弁護士でもあるシーラッハが書いた短編小説集です。一生愛しつづけると誓った妻を殺めた老医師。エチオピアの寒村を豊かにした、心やさしき銀行強盗。彼らがどのようにして犯罪に至ったのか、その過程が弁護士である「私」の視点で淡々と描かれています。と同時に彼ら「犯罪者」の物語にはどこか温かみもあり、魅了されます。

小説を通して「ただの人」が「犯罪者」となる人間模様を覗いてみませんか？読み終わる頃には、正しさとは何か、などについても自然と考えが深まっていることと思います。



授業づくりの深め方： 「よい授業」をデザインするための5つのツボ



著 者：石井英真

出 版 社：ミネルヴァ書房

発行年月：2020年6月

教育学部 保健教育学科

講師

萩 原 大 河

本書は、授業づくりの理論と実践を整理し、「よい授業」の条件や、そのような授業はどのように構成されているかが丁寧に説明されています。また、巻末には授業づくりに関連したブックガイドが収録されており、この1冊を起点として、教師としての学びを探究していくことができます。教師を志す学生にとっても、ベテランの教師にとっても、授業づくりと向き合うのに適した本です。



伝わるちから



著 者：松浦弥太郎

出 版 社：小学館

発行年月：2017年12月

看護学部 看護学科

助教

井 上 竹 美

ここ数年、私は「コミュニケーションのとり方」について悩むことが多くなりました。きっかけは転職です。その時、たまたま手に取ったのがこの本でした。「伝える」よりもまず“よく見る・よく気づく・よく感じる”という姿勢を磨くことで、自然と相手に思いが届くようになると説いています。筆者は元・暮らしの手帖編集長で、やさしい語り、わかりやすい言葉で書かれている文章は、気持ちを落ち着かせてくれます。自分の姿勢を振り返ることができる一冊です。



災害看護の本質 語り継ぐ黒田裕子の実践と思想



著 者：柳田邦男・酒井明子

出 版 社：日本看護協会出版会

発行年月：2018年6月

看護学部 看護学科

助手

藤 澤 正 太

私は小学生の時、阪神・淡路大震災を経験しました。遊び場にしていた自宅近くの運動公園には仮設住宅が立ち並び、子どもながらに震災による被害に心を痛めた記憶があります。黒田裕子先生は震災当時から逝去された平成26年まで、被災地支援活動に尽力されました。本書はタイトルの通り、黒田先生の実践と思想を、さまざまな方の視点から語ったものです。私は先生の「最後の一人まで見捨てない」という精神を尊敬し、自身の道標としています。

阪神・淡路大震災を知らない人が多くなった今だからこそ、ぜひ読んでいただきたい一冊です。



著 者：小春りん
出 版 社：スターツ出版
発行年月：2024年 10月

たとえ声にならなくても、 君への想いを叫ぶ。

教育学部 児童教育学科 4 年
滝 山 大 空

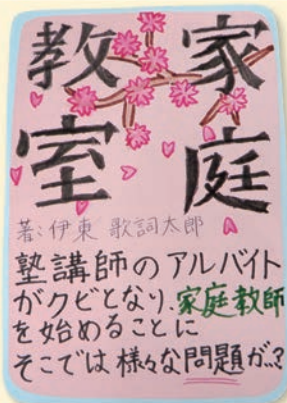
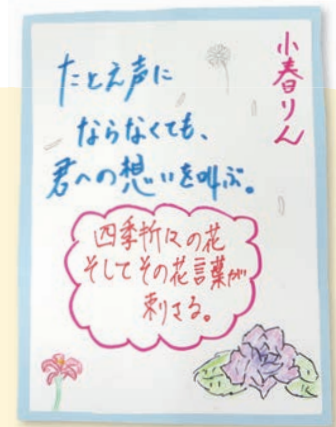
過去の出来事がきっかけで失声症になってしまった菜。

ある日、電車で困っているところを他校の先輩・樹生に助けてもらう。“声は出ませんが、耳は聞こえます。”文字のやり取りで二人の距離は縮まっていく。

過去の出来事に苦しんでいる自分を受け止めてくれるやさしさに、心動かされて・・・。

読んでいくと彼のやさしさであたたかい気持ちになります。

「心から伝わる」という意味がよくわかる作品です！



家庭教室

教育学部 保健教育学科 3 年
谷 川 愛 美

塾講師のアルバイトをクビになった大学生が、ある紹介で家庭教師のアルバイトを行うことになり、様々な家庭の子どもたちと関わりあっていく物語です。

家庭教師という立場からは知ることが難しい問題に対して、どのような対応が必要か、子どもの気持ちを知ることはできるのか。

それぞれの家庭での家庭教師生活が短編小説として読みやすく描かれています。

皆さんは子どもたちに寄り添うことはできますか？

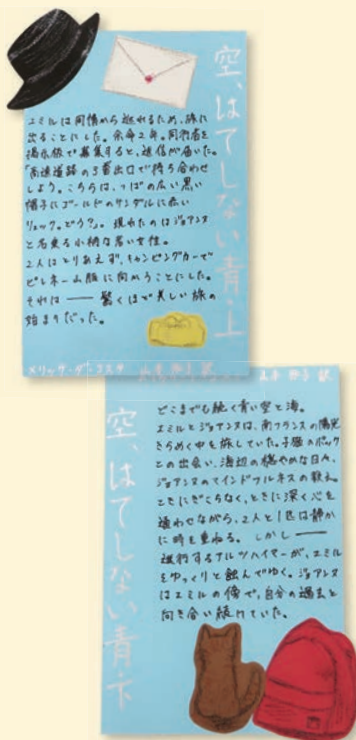


著 者：伊東歌詞太郎
出 版 社：KADOKAWA
発行年月：2020年 8月

図書館を活用しよう Check!

図書館 ガイドンス

図書館ガイダンスは「1・2年次生編」、「3・4年次生編」など個別の申し込みを随時受け付けています。受講を希望される方は図書館カウンターへお越しください。



空、はてしない青 上/下

社会福祉学部 社会福祉学科 2年
青山 芽生

「若年性アルツハイマーと宣告された男性、26歳。人生最後の旅の道連れ募集」。返事をしたのは、自分のことを何も語らない1人の女性だった。

せわしない毎日、気がつけば呼吸をすることすら忘れていませんか？

爽やかな文章で描かれる物語の中で、ふたりの旅路を追いかけて、共に旅をする。

読み進めるうちに、自然と呼吸も深くなるはず。読後、きっと世界は前より美しくある。あなたにとってそんな旅の一冊になりますように。



著者：メリッサ・ダ・コスタ
山本知子 訳
出版社：講談社
発行年月：2025年 9月



著者：町田そのこ
出版社：中央公論新社
発行年月：2020年 4月

52 ヘルツのクジラたち

看護学部 看護学科 2年
樋高 美佐子

誰しも辛かった経験や苦しい思い出があると思います。

声を上げたくても届かない、そんなもどかしい思いを抱えたことがあるのではないのでしょうか。

この本は「自分を受け止めてくれる人がいる」「聴いてくれる人がいる」ということに気づかせてくれる作品です。

タイトルに込められた意味も含めて、ぜひ読んでほしい、そんな一冊です。



MyCARIN

皆さん、MyCARIN はご利用いただいていますか？

- 1 誰かが借りている本に予約ができます
- 2 新着資料通知を PC メールで受け取れます（分野等指定可）
- 3 貸出履歴の照会ができます
- 4 現在借りている本の確認ができます
- 5 利用可能なすべてのデータベースへのリンクが貼られているのでアクセスが容易にできます

※MyCARIN の利用には ID とパスワードの発行が必要です。

お知らせ



古本掘り出し市（協力：赤穂高校図書部 赤穂警察署 赤穂市民病院）を11月2日から12日（学外の方へむけては汐風祭11月7・8日）に開催します。

昨年は、全国学校図書館協議会へ収益金38,818円、図書資料の一部をひょうご被害者支援センター「ホンデリング〜本で広がる支援の輪」※へ寄付することができました。

今年もご協力をよろしくお願いします。

※ ホンデリング〜本で広がる支援の輪〜

公益社団法人全国被害者支援ネットワークが実施する不要になった本を犯罪被害に遭われた方々への支援活動に活用する取り組み



昨年の様子

私たちは、国連の示す持続可能な開発目標（SDGs※）に対し、下記の課題解決を目指し活動しています。

ゴール4：質の高い教育をみんなに

2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。

ゴール12：つくる責任 つかう責任

2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。

ゴール17：パートナーシップで目標を達成しよう

さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。

※ SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）とは、2030年までに達成すべき国際社会共通の目標です。



図書館データ

- 蔵書数 80,517冊（うち外国書 10,051冊）
- 年間受入図書 715冊
- 年間受入雑誌数 167種（うち外国誌 55種）
- 年間受入新聞種数 16種（うち外国紙 1種）
- 視聴覚資料 3,487点
- 年間館外個人貸出 3,707点（うち学生貸出冊数 2,953冊）
- 年間入館者数 26,610人
- 契約オンラインデータベース 8種
- 開館時間 授業日・平日 9：00 - 21：00
土曜日 9：00 - 17：30
(2026年3月31日現在)

教育・研究のために収集した図書館資料を学外の方々にも利用していただけるよう、卒業生および一般の方に閲覧・複写・貸出サービスを行っています。来館される前に必ず開館日・時間を確認してください。

● 利用できる方

【卒業生】本学を卒業した方

【一 般】18歳以上で本学の図書館資料を使って、研究、調査などをされる方

● 利用手続きに必要な物

【卒業生】現住所を確認できる身分証明書

（運転免許証・マイナンバーカード等）

※「図書館利用者カード」を紛失している場合は「卒業証明書」（手数料400円）及び「図書館利用者カード再交付願」（手数料1,000円）の提出により再交付します。

【一 般】印鑑・生年月日および現住所が確認できるもの（運転免許証・マイナンバーカード等）

● 利用できるサービス

【卒業生】閲覧・複写・貸出（冊数：4冊以内、期間：2週間以内）
ラウンジの利用

（事前に校友会事務局に申込みをしてください）

【一 般】閲覧・複写・貸出（冊数：3冊以内、期間：2週間以内）

赤穂市立図書館、上郡町立図書館、備前市立図書館で貸し出された本を本学図書館で返却することができます。

図書資料は、返却期限内に、借りた図書館の利用者カードを持参して窓口（返却ポストは利用できません）へ返却してください。

編集後記

レポートや課題、アルバイトに忙しい日々を送っていることでしょう。また気がつけば画面を見ている時間が長くなりがちな毎日なのでは？たまには本を開いて、ゆっくり過ごす時間を楽しんでみませんか？思いがけない発見や出会いがあるかもしれません。（M）

カウンター前の展示架には、「新刊コーナー」があります。勉強に役立つ最新の問題集や参考書、今話題の小説等たくさん置いています。是非手に取ってみてください。また、読みたい本がないな…という時はリクエストも受け付けております。お気軽にカウンターまでおこしください。（F）

図書館玄関の入退館ゲート、図書資料を誤って持ち出さないようBPS装置が取り付けられています。このたびゲートは透明に刷新され、検知感度がアップしました。今後は入退館管理機本体も新規設置される予定です。今号も先生方、学生の皆さんに多大なご協力をいただきありがとうございました。（O）

お問い合わせ先

tel:0791 - 46 - 2506(図書館) mail:lib@kusw.ac.jp

図書館ホームページ

<https://www.kusw.ac.jp/general/affiliated/library>